

令和3年度 全国体力・運動能力 運動習慣等調査の結果について



○種目・・・握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、
20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

5年生を対象とした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の令和3年度の本校の結果についてお知らせいたします。

男子は、「握力」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」の4種目において全国平均を上回る結果となり、「上体起こし」「ソフトボール投げ」は全国平均とほぼ同様の結果でした。「20m シャトルラン」と「50m 走」の種目は全国平均を下回り【持久力】や【走力】が課題となりました。

女子は、「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の4種目において全国平均を上回り、「握力」は、全国平均とほぼ同様の結果でした。「20m シャトルラン」と「50m 走」の種目は全国平均を下回り、男子と同様に【持久力】や【走力】が課題となりました。

「児童質問紙」においては、「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が全国より男女ともに多く、また男子より女子に「運動やスポーツ（体を動かす遊び）が好き」という割合が多いことから、今後の改善が期待できるところです。運動が嫌いな理由としては「けがをすることがこわいから」が男女ともに多くみられ、男子は「昔から苦手だから」、女子には「友達の前で運動するのが恥ずかしいから」という理由が続きました。

また、学習以外でTV、DVD やゲーム機、スマホ等の画面を見ている時間が全国より長いという結果は今年度もこれまで同様で、なかなか改善が見られていません。

本校としましては、これらの結果を受け、「体育科の授業改善」「児童会活動と連携した体力向上の取組」「休み時間の遊びの多様化」等をすすめていきます。5年生だけではなく、全学年で全種目の新体力テストの実施を通して児童一人一人の成長を大切に、運動への関心意欲を高める工夫を進めるなど、保護者や地域と連携・協働しながら、バランスのとれた体力の向上を目指していきます。

